

療法名 **wPTX**

適応 **乳癌**

抗癌剤適応分類 **進行・再発癌、術後補助化学療法、術前補助化学療法**

第2版	2022年2月
登録番号	乳-8
登録年月日	2013年1月

投与順	抗癌剤名(一般名)	【略語】	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	パクリタキセル® (パクリタキセル)	PTX	80mg/m ²	点滴静注	60分	d1,8,15

	day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
PTX	80mg/m ²	↓							↓							↓						

1コース期間 (次のコースまでの標準期間)	4週:1週間毎に3週投薬1週休薬
総コース数	術前・術後では、80mg/m ² →12回の投与。進行・再発乳癌の場合、末梢神経障害強くなければ制限なし
コース間での休薬規定	チェックリスト参照

減量規定・中止基準	チェックリスト参照
投与量の増量規定	なし
投与間隔の短縮規定	1日短縮可能
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	単剤のためなし
プレメディケーション	デキサメタゾン注6.6mg、ファモチジン注1A、クロルフェニラミン注1A
ポストメディケーション	なし

主な副作用とその対策	チェックリスト参照
患者条件	チェックリスト参照
除外規定	チェックリスト参照
実施上の注意点	①60分未満で投与すると、アレルギー反応が起こりやすくなる ②点滴中に呼吸困難が発現した時は、投与を中止すべきである

備考	なし
治療成績	転移性乳癌に対する奏効率:30~50%、術前化学療法の奏効率:73%(癌研)
その他	塩化ビニルから可塑剤(環境ホルモン)が溶出するので、専用の点滴ルートを使用する

参考文献 南江堂 リスク別 がん化学療法レジメン 改訂第2版